

九州沖縄地区

高専技術振興会サミット
in
KURUME

産学連携 ～その先にできること～

基調講演

「高専教育と産学連携への期待 ～高専教育の魅力を高める～」
二橋 岩雄 氏(元トヨタ自動車九州株式会社取締役会長)

連携事例紹介

久留米高専、熊本高専、沖縄高専

高専の産学連携取組みの紹介

安藤 真 氏(国立高等専門学校機構 研究推進担当理事)

パネルディスカッション

「技術振興会と高専連携による持続可能な地域未来の創成
～地域拠点としての高専への期待と課題～」
ファシリテーター: 渡辺 考一 氏(鶴岡高専 客員教授)

2019年10月19日(土) 13:30-17:30

久留米シティプラザ 福岡県久留米市六ツ門町8-1



主催 (独)国立高等専門学校機構第5ブロック研究推進ボード
主管 久留米工業高等専門学校 TEL.0942-35-9300(代)

後援 経済産業省九州経済産業局、内閣府沖縄総合事務局、
(一社)九州経済連合会、沖縄経済同友会、福岡県、久留米市、鳥栖市、
久留米商工会議所、鳥栖商工会議所、日本弁理士会九州会

会 場

【 久留米シティプラザ 】

〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町 8-1 TEL : 0942-36-3000



○福岡市から

- ・新幹線で JR 博多駅から JR 久留米駅まで約 17 分
- ・JR 鹿児島本線で JR 博多駅から JR 久留米駅まで約 35 分
- ・JR 久留米駅からタクシー約 7 分、路線バス約 10 分、徒歩約 20 分
- ・西鉄電車で西鉄福岡（天神）駅から西鉄久留米駅まで約 30 分
- ・西鉄久留米駅からタクシー約 4 分、路線バス約 5 分、徒歩約 10 分
- ・自動車ですり久留米 I.C. から約 15 分

○東京方面から



- ・飛行機で羽田空港から福岡空港まで約 1 時間 55 分
- ・高速バスで福岡空港から「六ツ門・シティプラザ前」バス停まで約 50 分（乗り換えなし）

目次

(1) 主催者挨拶	3
◆ 第5ブロック研究推進ボード主査(大分工業高等専門学校 校長)日野 伸一 氏	
(2) 主管校挨拶	4
◆ 久留米工業高等専門学校 校長 三川 謙二 氏	
(3) 独立行政法人国立高等専門学校機構 理事長挨拶	5
◆ 独立行政法人国立高等専門学校機構 理事長 谷口 功 氏	
(4) プログラム(サミット次第)	6
(5) 会場・館内配置図	7
(6) 基調講演「高専教育と産学連携への期待 ～高専教育の魅力を高める～」	8
◆ 元トヨタ自動車九州株式会社 取締役会長 二橋 岩雄 氏	
(7) 連携事例紹介	9
① 「冷風乾燥施設における除湿空調機の選定方法及び施設設計手法の開発」	
◆ 津福工業株式会社 設計課 平川 智範 氏	
【連携グループ】久留米工業高等専門学校	
② 「土壌中の重金属汚染を簡易・迅速に判定できる重金属検出キットの開発」	
◆ 有限会社坂本石灰工業所 企画開発室 深浦 仁美 氏	
【連携グループ】有限会社坂本石灰工業所、熊本高等専門学校、 東京工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校	
③ 「沖縄ハム総合食品株式会社との共同研究による乳酸菌入りウインナー、飲料の開発、販売」	
◆ 沖縄工業高等専門学校 生物資源工学科 教授 池松 真也 氏	
【連携グループ】沖縄ハム総合食品株式会社、沖縄工業高等専門学校	
(8) 高専の産学連携取組みの紹介	10
◆ 独立行政法人国立高等専門学校機構 研究推進担当理事 安藤 真 氏	
(9) パネルディスカッション	11
【テーマ】「技術振興会と高専連携による持続可能な地域未来の創成 ～地域拠点としての高専への期待と課題～」	
(10) 九州沖縄地区高等専門学校技術振興会サミット in KURUME 宣言(案)(久留米宣言(案))	12
(11) 情報交換会のご案内	13
(12) 技術振興会紹介	
◆ 久留米工業高等専門学校	14
◆ 有明工業高等専門学校	15
◆ 北九州工業高等専門学校	16
◆ 佐世保工業高等専門学校	17
◆ 熊本高等専門学校	18
◆ 大分工業高等専門学校	19
◆ 都城工業高等専門学校	20
◆ 鹿児島工業高等専門学校	21
◆ 沖縄工業高等専門学校	22
(13) 企業広告	23

九州沖縄地区高専技術振興会サミット in KURUME の開催に際して

独立行政法人国立高等専門学校機構

第5ブロック研究推進ボード 主査

日野伸一

(大分工業高等専門学校 校長)

国立高等専門学校(高専)は、わが国の経済成長を担う実践的技術者人材を育成するため、中学校卒業後の若者を受け入れ、5年一貫教育の下に技術者教育を行う高等教育機関として、1962年以降に次々と設立されました。そして、2004年に独立行政法人化後、現在は51校の国立高専が全国に配置されています。

高専の最大の使命は、言うまでもなく常に社会のニーズに対応した国際的に通用する実践力と創造性を兼ね備えた技術者人材の育成です。同時に、高専の持つ知的資産、とりわけ教員の研究力を基にした社会貢献もきわめて重要な使命といえます。国立高専機構では、研究推進・産学官連携活動を、学生の教育と同様な重みをもつ基本的使命の一つとして位置付けて、全国高専の研究推進・産学官連携活動の向上に取り組んでいます。

さて、九州沖縄地区の9高専をはじめ、ほとんどの高専には、その地域に拠点を置く企業や官公庁との連携組織が存在します。その名称や構成、運営方法などは各々で異なりますが、いずれも高専を中心として産業界や官公庁との連携を深め、地域の産業振興や技術者育成によって地域貢献を果たすという目的は共通しています。ここでは、これらの組織を総称して、「技術振興会」と呼称させて頂きます。

このたび、各高専の産学連携組織である技術振興会が一堂に会して、情報交換と親睦交流を図るとともに、各高専・技術振興会等の枠を超えて企業間や企業・高専間の連携強化、シーズ・ニーズのマッチング促進などを通じて、地域産業の活性化、新たな産業創出、技術者人材の育成などに寄与する機会として、「九州沖縄地区高専技術振興会サミット」を初めて開催することになりました。

本サミットでは、ご自身が高専の出身者でいらっしゃる元トヨタ自動車九州株式会社会長の二橋岩男氏に基調講演をお願いしました。その後、企業と高専の共同研究の取組み事例をご紹介させて頂くとともに、高専機構の産学連携・研究推進に対する取組みについて、担当の安藤真理事にご説明頂くことにしています。さらに、後半では、パネルディスカッションとして、ファシリテーターの渡辺考一氏と各界代表のパネリストの皆様によって、技術振興会と高専連携への期待と課題について熱い議論を展開させて頂きます。

今回初めての企画ですが、今後の高専および技術振興会の産学連携・研究推進・人材育成などの更なる向上にとって実りある成果がえられることを期待するものであります。

最後に、本サミットを開催するにあたり、多大のご高配を賜ったご来賓の方々および関係機関、九州沖縄地区の各技術振興会および高専、そして本サミットの主管校をお引き受け戴いた久留米高専の教職員の方々をはじめ、関係者各位に、深甚なる謝意を表する次第です。

(2) 主管校挨拶

「持続可能な開発目標」(SDGs)に適った高専発の新しい産業技術の創出をめざして

独立行政法人国立高等専門学校機構

久留米工業高等専門学校長 三川 謙 二

全国51の国立高等専門学校のほとんどは、中小都市に所在しています。そこでは、地域からの輿望を受けて教育と研究が営まれています。高専の教育と研究は、地域からたくさんの方の学び、その成果を地域に還元し、地域に支えられながらその歴史を刻んできました。

九州沖縄地区においても、各高等専門学校は、地域と深い絆で結ばれ、これまで地域と様々な連携をはかってきました。その連携の中心を占めているのが産学連携であり、それを担っているのが高専技術振興会です。昨年8月北九州高専が技術振興会を発足させるに至り、九州沖縄地区の全ての高専が技術振興会のご支援を受けて教育・研究を進める体制を整えることができました。九州沖縄地区高専の技術振興会が共通課題(「産学連携」)を把握し、その将来(「その先にできること」)を展望する九州沖縄地区高専技術振興会サミットを開催できる時期が到来したと言えます。

九州沖縄地区の高専と技術振興会の代表は、本日、ものづくりと歴史的に縁の深い地である、ここ久留米に集います。ご承知のとおり、久留米は、女性エンジニアの草分けである久留米絣の創始者井上伝さん、東芝の創業者の一人であり日本のエジソンとも称せられる、からくり義右衛門こと、田中久重さん、文字通りグローバル企業ブリヂストンの創業者である石橋正二郎さん他数々の我が国のものづくりの先駆者を輩出した地であります。九州沖縄地区高専の技術力と技術振興会の企業力を高らかにアピールする機会となる本サミットを久留米高専の主管で開催できることを大変光栄に存じております。

本技術振興会サミットの目的は、採択予定の九州沖縄地区高等専門学校技術振興会サミット in KURUME 宣言(久留米宣言)の謳う目標の中に明示されています。とりわけ、「九州沖縄地区高専と地域企業とのシーズとニーズのマッチングの促進等の連携を強化し、それにより地域企業の企業力及び高専の研究力の一層の向上を図る」ことに注目したいと考えます。

地球的規模の諸課題に取り組むに際しても、地方創生を考える上でも、今日ほど産業技術と環境や社会との調和が求められている時代はないと言っても過言ではありません。本サミットの開催が、九州沖縄地区高専から新しい産業技術を創出し、そのことが地域産業の振興と地域経済の活性化を図ることに繋がることを心より願っております。しかし、同時に、その新しい産業技術は「持続可能な開発目標」(SDGs)に適ったものであり、究極的には人類の福祉の向上に貢献するものとなることを強く願うものでもあります。

結びに、本サミットの開催に当たり賜りました関係各位並びに関係機関のご尽力に深く感謝申し上げますと共に、本サミットに参加された皆様におかれましては、九州沖縄地区高専の進める産学連携について、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

九州沖縄地区高専技術振興会サミットの開催を祝して

独立行政法人国立高等専門学校機構

理事長 谷 口 功

九州沖縄地区高専技術振興会サミットが開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。
本サミットは、全国の高専を5ブロックに分けたうちの1つである九州沖縄地区の9つの高専で組織している第5ブロック研究推進ボードが主催となり、久留米高専が主管校として本日の開催に至っております。

ここ久留米の地に九州・沖縄地区の9高専の技術振興会と高専の教員が一堂に会し、各高専教員と技術振興会が枠を超えて情報交換と親睦交流を図ることにより、技術振興会会員企業と高専の連携がより強化され、九州沖縄地区の産業の活性化につながることはもとより、併せて時代が求める高度な技術者の人材育成に貢献できるものと期待しています。

本サミットでは、高専卒業生による基調講演、企業との連携事例紹介、高専機構の産学連携の取組み紹介及び高専の技術振興会と高専との連携への期待と課題についてパネルディスカッションを行うこととなっており、本サミットを通して高専と技術振興会との固い絆とともに更なる産業界の発展に寄与できるものと考えております。

各地区内の高専と技術振興会が一堂に会して交流を行う九州沖縄地区高専技術振興会サミットは、高専として初の試みであり、国立高等専門学校機構本部としましても是非とも成功を収めていただき、高専と技術振興会との更なる連携発展のための道標となってくれるものと確信しております。

高専機構では、日本全国に配置された5ブロック51高専に所属する研究者がネットワークを形成して、様々な分野で新産業につながる研究開発を行っています。このスケールメリットを活かして難解な技術問題に対して複合・融合的なアプローチを行い、答えを見出します。勿論、地域の技術課題（ニーズ）に応えることも高専機構の一つの重要なミッションです。高専教員、各学校、地域の支援企業でこれまで個々に進めてきた研究活動を各高専、全国で4000を超える支援企業、自治体等の有機的な研究ネットワークを活かした組織的産官学連携活動として、これからもさらに発展させたいと思います。高専は、研究成果の社会実装に向けて努力することは勿論、地域固有の課題を高専教員の研究力で解決することも目標に掲げております。地域のニーズに学び、日本を牽引し、さらには地球規模での持続的発展に貢献するため、是非、これからの高専の産官学連携活動にご期待とさらなるご支援を頂きたいと思っております。

本サミットに参加されました技術振興会、関係機関及び高専教職員の皆様が本サミットを通して益々連携を深め、九州沖縄地区の産業の発展に寄与すると共に高専教育に対する一層のご理解とご協力を賜ることをお願い申し上げます。

(4) プログラム (サミット次第)

13:00	受 付
13:30	開 会 ◆開会の言葉 技術振興会サミット in KURUME 主管校 (久留米工業高等専門学校) 校長 三川 諒二 氏 ◆主催者挨拶 第5ブロック研究推進ボード主査 (大分工業高等専門学校 校長) 日野 伸一 氏 ◆機構本部挨拶 独立行政法人国立高等専門学校機構 理事長 谷口 功 氏 ◆来賓挨拶 経済産業省 九州経済産業局 地域経済部長 松下 達也 氏 久留米市長 大久保 勉 氏
14:00	基調講演 「高専教育と産学連携への期待 ～高専教育の魅力を高める～」 ◆元トヨタ自動車九州株式会社 取締役会長 二橋 岩雄 氏
15:00	連携事例紹介 ①「冷風乾燥施設における除湿空調機の選定方法及び施設設計手法の開発」 ◆津福工業株式会社 設計課 平川 智範 氏 【連携グループ】久留米工業高等専門学校 ②「土壌中の重金属汚染を簡易・迅速に判定できる重金属検出キットの開発」 ◆有限会社坂本石灰工業所 企画開発室 深浦 仁美 氏 【連携グループ】有限会社坂本石灰工業所、熊本高等専門学校、 東京工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校 ③「沖縄ハム総合食品株式会社との共同研究による乳酸菌入りウインナー、飲料の開発、販売」 ◆沖縄工業高等専門学校 生物資源工学科 教授 池松 真也 氏 【連携グループ】沖縄ハム総合食品株式会社、沖縄工業高等専門学校
15:30	「高専の産学連携取組みの紹介」 ◆独立行政法人国立高等専門学校機構 研究推進担当理事 安藤 真 氏
16:00	《 休 憩 》 《 パネル展示 》
16:15	パネルディスカッション 【テーマ】「技術振興会と高専連携による持続可能な地域未来の創成 ～地域拠点としての高専への期待と課題～」 ◆ファシリテーター : 渡 辺 考 一 氏 (鶴岡工業高等専門学校 客員教授) ◆パネリスト : 松 下 達 也 氏 (経済産業省 九州経済産業局 地域経済部長) : 鶴ヶ野 未 央 氏 (株式会社九州タブチ 代表取締役社長) : 末 松 謙 一 氏 (株式会社末松電子製作所 代表取締役社長) : 下 田 正 寛 氏 (日本弁理士会九州会 安倍・下田国際特許事務所) : 入 江 英 也 氏 (佐世保工業高等専門学校 准教授、株式会社ユウシステム 代表取締役社長) : 松 本 佳 久 氏 (大分工業高等専門学校 教授、地域共創テクノセンター長) ◆メンター : 二 橋 岩 雄 氏 (元トヨタ自動車九州株式会社 取締役会長) : 安 藤 真 氏 (独立行政法人国立高等専門学校機構 研究推進担当理事)
17:15	九州沖縄地区高等専門学校技術振興会サミット in KURUME 宣言 (案) (久留米宣言 (案)) 採択
17:20	閉会の言葉 ◆第5ブロック研究推進ボード副主査 (有明工業高等専門学校 校長) 江崎 尚和 氏 《 パネル展示 》 ※情報交換
18:00	情報交換会
20:00	閉 会

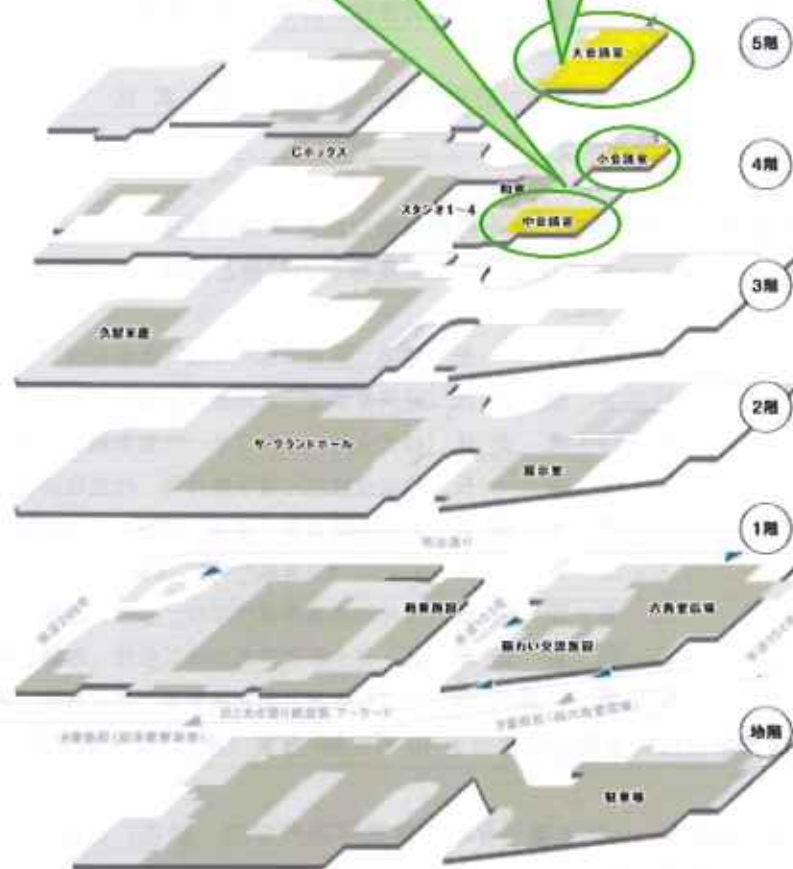
(5) 会場・館内配置図

【会場】久留米シティプラザ

情報交換会会場・・・4階 中会議室
 来賓・本部控室・・・4階 小会議室



サミット会場・・・5階 大会議室
 ※パネル展示コーナー



演 題：「高専教育と産学連携への期待 ～高専教育の魅力を高める～」



講 師： 二 橋 岩 雄 氏

昭 45.3 沼津工業高等専門学校 機械工学科 卒

昭 45.4 トヨタ自動車工業株式会社 入社
(現 トヨタ自動車株式会社)

平 20.6 同社 専務取締役 就任

平 24.1 トヨタ自動車九州株式会社
代表取締役社長 就任

平 27.6 同社 代表取締役会長 就任

平 30.6 同社 代表取締役会長 退任

現在に至る

概 要：

高専制度初期の卒業生として、約半世紀に亘る産業界・経済界での活動を通じた自らの経験と信条をもとに、これからの九州・沖縄の高専の向かうべき方向性と地域との関わりについて述べる。

1. 自動車づくり 50 年を振り返り思うこと
～「人柄の良い技術者となって世の期待に応えよ！」
校是を全うできたのだろうか？
2. 高専が主体となった地域創生への期待
～地域に根付き、地元になくてはならない存在となる！
3. 高専支援企業へのお願い
～支援企業を増やし、絆を深める
4. 九州力を生かす！
～魅力に富んだ九州力を徹底活用！
5. 高専教育の向かうべき方向
～高専の魅力を更に高める！

(7) 連携事例紹介

①「冷風乾燥施設における除湿空調機の選定方法及び施設設計手法の開発」	
連携グループ	津福工業株式会社、久留米工業高等専門学校
講師	津福工業株式会社 設計課 平川 智範 氏
概要	<p>当社は恒温恒湿室・環境試験室・クリーンルームを中心に、冷熱設備の設計・施工・メンテナンスを行っており、そこで培った冷熱技術を応用して冷風乾燥施設に取り組んでいます。冷風乾燥は5～30℃程度の低湿度空気で乾燥させる方法で、主に魚や野菜・果物等の乾燥に用いられ、高温で乾燥させる方法と比較して、香りや色の劣化が少なく高品質な食品を作ることができます。新規に乾燥施設を設計する場合、ユーザーが乾燥させようとする対象物の種類、量および要望乾燥時間に見合った施設設計を行う必要があります。しかしユーザーの要望乾燥時間を満たすのに必要とする除湿能力が不明であるため、乾燥能力にかなりの余裕を持たせた除湿空調機を採用せざるを得ず、施設のイニシャルおよびランニングコストが過大になることがあります。そこで久留米高専と共同で1) 被乾燥物の乾燥速度を正確に計測できる測定システムの構築、および2) 測定システムによって得た実験結果を施設設計に結び付ける手法の開発を目標として取り組みました。その成果として、少量の対象物を使い、少ない実験で施設設計できる手法を確立することができました。</p>
②「土壌中の重金属汚染を簡易・迅速に判定できる重金属検出キットの開発」	
連携グループ	有限会社坂本石灰工業所、熊本高等専門学校、東京工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校
講師	有限会社坂本石灰工業所 企画開発室 深浦 仁美 氏
概要	<p>汚染土壌による環境汚染は世界中で問題となっていますが、目で見ただけでは汚染の程度が分かりません。</p> <p>中でも重金属は土壌汚染の代表的な原因物質で、重金属による土壌汚染は地下水等を経由して健康被害へ繋がる恐れがあります。</p> <p>重金属類とその汚染範囲の特定には、膨大な数のサンプルを採取・分析する必要がありますが、環境省告示の分析では6時間の溶出試験と各種機器による煩雑な分析を行い約8日を要します。また分析機械や分析に必要な前処理も必要な為、専門知識を有していないと分析が出来ません。そこで弊社では3高専の協力を得て、分析機器を使用せず、1時間で重金属の有無を測定できる検出キット「OCTES (オクセス)」を開発しました。</p>
	 <p>OCTES (オクセス)</p>
③「沖縄ハム総合食品株式会社との共同研究による乳酸菌入りウインナー、飲料の開発、販売」	
連携グループ	沖縄ハム総合食品株式会社、沖縄工業高等専門学校
講師	沖縄工業高等専門学校 生物資源工学科 教授 池松 真也 氏
概要	<p>平成20年(2008年)4月より沖縄ハム総合食品株式会社様と「亜熱帯果樹及び沖縄野菜の有効成分の分析研究」というテーマで産学連携の共同研究を開始致しました。同年に実施した沖縄県の産学官連携推進ネットワーク形成事業「熱帯果実の微生物発酵による高度利用の検討」で那覇空港で販売する“おきなわ土産”として、例えば沖縄をイメージできるトロピカル果実、パイナップル、マンゴー、ドラゴンフルーツなどから取れた乳酸菌で作った乳酸菌飲料などを3本セットでおみやげにできたらいいねという話ができました。沖縄ハムが継続してきた沖縄特産のシークワサーへの取り組みと新たに見つけたユニークな乳酸菌のマリアージュを目指し、「沖縄県の健康・長寿に貢献する健康補助食品の開発」というテーマで平成25年度(2013年度)ライフスタイルイノベーション創出推進事業(沖縄県商工労働部; 受託機関: (株)沖縄TLO)の実用化・実証ステージに応募し、採択されました。当該事業中、私達の発見した乳酸菌の機能性や安全性を研究するため、沖縄高専にある次世代シーケンサーも活用し、この成果を知的財産化することができました。九州・沖縄地区で初めての取得ということでした。</p>

(8) 高専の産学連携取組みの紹介

概要：

独立行政法人国立高等専門学校機構
研究推進担当理事 安藤 真氏

高専は、創設以来 50 年で延べ 40 万人の実践的な高度技術者を育成し、社会に送り出してきました。そのハイレベルな技術者教育の源泉となっているのは、地域のニーズに応える高専ならではのユニークな研究力です。イノベーションによる科学技術立国を標榜する日本において、高等教育機関における共通の課題として社会実装の重要性が指摘される中、これを本来の使命と捉える“高専の教育研究”の評価がますます高まっています。折しも、世界では持続ある発展のための Agenda (SDGs) が、日本ではイノベーションによる国の産業振興をはかり ICT 技術を柱としたスマート社会の実現を目指す Society5.0 が標榜され浸透が加速しています。地域、海、環境、農業など列挙される課題は、高専にとってなじみの深いものであり、高専の強みが、まさに発揮される土俵が用意されたとと言えます。時代の要求を追い風と捉え、高専の研究力を発展させます。飛躍の鍵は、高専機構全体としての組織力の発揮です。主に教員、学生、地域の支援企業で学校毎に個別に進めてきた研究活動を、機構 51 校の教員と学生、全国で 4000 を超える支援企業、自治体の有機的なネットワークを活かした組織的研究・産官学連携活動へと発展させます。例えば、研究の成果を地域を超えて社会実装します。逆に地域に固有の課題を全国の教員の研究力を結集し解決します。このような活動を企業や自治体そして学生と協働し、人材育成とともに我が国の産業を支援して参ります。地域のニーズに学び、日本を牽引し、さらには世界の持続的発展へ貢献する“高専の研究力”とすべく、重点的な取り組みをおこなっています。

平成 30 年度には、第 4 期中期計画へ移行する準備として、「研究推進・産学連携に関する将来計画検討WG」を設置し、これまで運営費交付金に依存してきた研究活動を改善するため、研究・産学連携による外部資金の拡大や機構運営上の財源の多様化を狙った施策を探りました。第 5 期には、外部資金の間接経費などにより、自立的・持続的に研究・産学連携活動を賄うばかりでなく、運営費交付金の不足を補い教育事業を含めた高専機構全体の活性化、組織強化にも充てる理想を掲げ、教員当たり毎年 100 万円程度の外部資金を、目安として 10%/年程度増加する目標を示し、具体的には、次のような方向性で取り組みを進めます。

- ・大きな社会貢献を支える学術研究への展開－科研費の採択を増進。科研費査読ネットワークの運用「Only 1 に加え No. 1 を」
 - ・研究産学連携の組織化 51 校 1 法人である機構としての組織力の発揮、総計すると 4000 社に上る地域支援企業と協働する社会実装力、組織的研究を支える研究や事務の支援体制
 - ・教員の研究力を生かすための校務の役割分担
 - ・視野を広げ、世界へ通じる研究のために、教員と学生の学会活動への参加を奨励
 - ・OB と連携した起業精神の醸成と起業家全国ネットワークの支援
 - ・高専発の研究・技術のシーズを全国の高専支援企業へ展開できるネットワーク構築
 - ・地元就職を補完する、リターン人材受け入れの全国規模の仕組み
 - ・加速する技術革新に対応したリカレント教育
 - ・教育と研究の壁を解消した寄付金獲得
 - ・各校、各ブロックの研究・産学連携イベントカレンダーの整備と共有。
 - ・KRA 活動の機構内の浸透と IR 活動の強化
- 講演では、SDGs をめぐる世界の研究の動き、高専の取り組み（科研、研究ネットワーク、情報化）、産学連携の事例紹介などを述べます。

(9) パネルディスカッション

【テーマ】「技術振興会と高専連携による持続可能な地域未来の創成 ～地域拠点としての高専への期待と課題～」	
◆ファシリテーター	渡辺考一氏 (鶴岡工業高等専門学校 客員教授)
◆パネリスト	松下達也氏 (経済産業省 九州経済産業局 地域経済部長)
	鶴ヶ野未央氏 (株式会社九州タブチ 代表取締役社長)
	末松謙一氏 (株式会社末松電子製作所 代表取締役社長)
	下田正寛氏 (日本弁理士会九州会 安倍・下田国際特許事務所)
	入江英也氏 (佐世保工業高等専門学校 准教授、 株式会社ユウシステム 代表取締役社長)
	松本佳久氏 (大分工業高等専門学校 教授、地域共創テクノセンター長)
◆メンター	二橋岩雄氏 (元トヨタ自動車九州株式会社 取締役会長)
	安藤真氏 (独立行政法人国立高等専門学校機構 研究推進担当理事)

九州沖縄地区高等専門学校技術振興会サミット in KURUME 宣言(案)

(久留米宣言 (案))

九州沖縄地区の高等専門学校と技術振興会は、本日、その代表が、数々のものづくりの先駆者を輩出して来たここ久留米の地に集い、九州沖縄地区高専の技術力と技術振興会の企業力に基づく連携、すなわち産学連携のさらなる推進を約束すると共に、持続可能な開発目標 (SDGs) の実現と人類の福祉の向上に貢献することを目的として、今後次の事柄に取り組んでいくことを宣言する。

- 一、九州沖縄地区高専のシーズと地域企業のニーズのマッチングを促進・強化し、地域企業の企業力及び高専の研究力・技術力のさらなる向上を図る。
- 一、九州沖縄地区から持続可能な開発目標 (SDGs) に適った新しい産業技術を創出し、地域産業の振興と地域経済の活性化を図る。
- 一、九州沖縄の地域企業間の連携を一層強化し、新たなビジネスチャンスとビジネスパートナーシップを作り出す。
- 一、九州沖縄地区高専の卒業生・修了生を九州沖縄の地域振興の担い手として輩出するための支援活動を行う。
- 一、九州沖縄地区高専間における産学連携を中心とした地域連携に係る情報交換と情報共有の一層の強化を図る。

令和元年10月19日

九州沖縄地区高等専門学校技術振興会サミット in KURUME 参会者一同

(11) 情報交換会のご案内

【会 場】久留米シティプラザ 4階 中会議室

【会 費】6,000円

【次 第】

1. 開会挨拶
2. 来賓挨拶
3. 乾 杯
4. 歓談及びスピーチ
5. 閉会挨拶

※来賓挨拶後、筑後地方の杜氏が歌う『筑後酒造り唄』をご披露します。

筑後地方は灘・伏見と並んで日本三大酒どころと言われ、三瀬杜氏の本場です。これら杜氏が歌う作業歌が『筑後酒造り唄』です。三瀬の杜氏は、冬期は九州各地の造り酒屋に出向いて働きました。明治17年に酒造りの製法を摂津の灘に学びましたが、灘の水が硬水で、筑後川の水が軟水だったために失敗。その後軟水製法を研究して今日に及んでいます。この製法技術の指導を受けた折り、酒造り唄も一緒に習い覚えたものです。唄の節回し等は、灘の酒造り唄に比べ九州人独特の力強い節回しに変わり、現在の尺八唄には中園牧司・池口森雄の両氏により整えられたものです。





独立行政法人 国立高等専門学校機構

久留米工業高等専門学校

「テクノネット久留米」



テクノネット久留米

◆設立趣意

テクノネット久留米は、平成24年10月久留米高専と地域産業界との連携・交流を深めることにより、地域産業の発展に寄与するとともに、久留米高専の教育研究の振興を図ることを目的に設立されました。

◆事業目的

久留米高専の教育研究の充実に関すること

地域産業の発展に関すること

組織

◆設立 平成24年10月

◆会員数 法人会員：66社

個人会員：2名

特別会員：14機関

(令和元年9月時点)

受託研究&共同研究等

◆受託研究 1件(H28), 2件(H29), 0件(H30)

◆共同研究 19件(H28),14件(H29),16件(H30)

◆技術相談 5件(H28), 2件(H29), 7件(H30)

主な活動

- ◆セミナー・講演会の開催
- ◆学生インターンシップ・工場見学への支援
- ◆テクノネット久留米文庫 (図書寄贈事業)
- ◆久留米高専ラボツアー
- ◆会員企業等の施設見学
- ◆会員紹介ブックの発行
- ◆在学生・卒業生への会員企業紹介
- ◆会員企業説明会の開催
- ◆会員企業からの技術相談 (無料)



テクノネット久留米文庫



テクノネット久留米からの寄贈図書により、久留米高専図書館に「テクノネット久留米文庫」コーナーが設けられています。

テクノネット久留米企業説明会

◆H31.3.5実施

久留米高専の学生に対し、地元企業を知ってもらい、今後の進路選択の1つとして考える機会にしておらおうと毎年開催しています。

参加企業による企業概要等のプレゼンテーションや、企業ブースにおける個別説明が行われました。



担当窓口

独立行政法人国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校
産学民連携テクノセンター
(事務担当：総務課研究推進係)

〒830-8555 福岡県久留米市小森野一丁目1番1号
TEL：0942-35-9333 FAX：0942-35-9307
Email Pi-staff.GAD@ON.Kurume-nct.ac.jp
URL <http://www.kurume-nct.ac.jp/RCTC/index.html>



独立行政法人 国立高等専門学校機構
有明工業高等専門学校
「有明広域産業技術振興会」



有明広域産業技術振興会とは

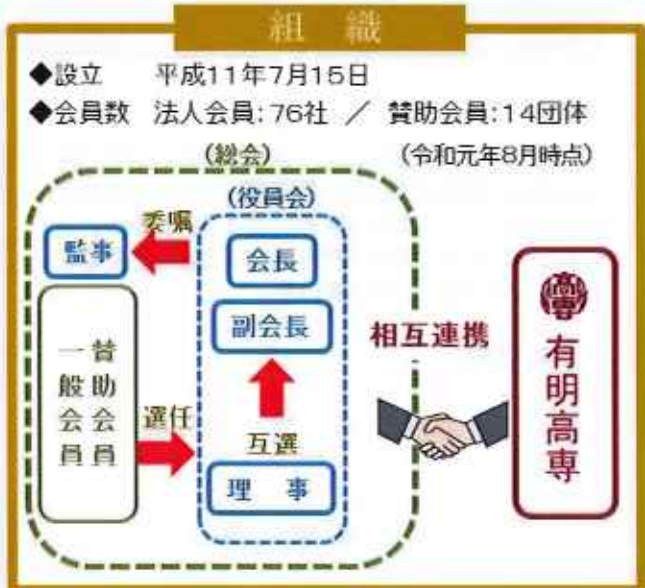
地域唯一の理工系高等教育研究機関である有明高専と有明広域圏内企業等との交流を深め、産学官連携活動を支援するとともに、有明高専の教育・研究活動及び地域産業の発展に寄与することを目的として活動しています。

有明広域産業技術振興会
 会長：赤木一平(信託電材株式会社代表)

法人会員・賛助会員

大牟田商工会議所 大牟田市役所 大牟田市地域活性化センター

振興会事務局



- ### 主な活動
- 産学官の交流に関する事業
 - ◆会員企業との交流(役員会、総会、交流会の開催)
 - ◆有明高専サテライトオフィス(まちなかシリコンバレー)における交流
 - 技術相談、共同研究開発等の地域企業の技術振興に関する事業
 - ◆共同研究、受託研究及び技術相談の推進
 - ◆地場産業振興支援研究事業による有明高専教員と会員企業に対する研究の支援・推進
 - 有明高専と地域企業等との交流に関する事業
 - ◆特別講演会の開催
 - ◆ありあけ地域企業紹介フェアの開催
 - その他本会の目的達成に必要な事業
 - ◆有明高専オープンキャンパスにおける有明広域産業技術振興会活動の紹介

地場産業振興支援研究事業

～有明広域産業技術振興会では高専教員と会員企業との間における研究に対して助成支援を行っています。～

◆R01年度採択課題(3件)

- ・ファインパブル技術の応用展開に向けた学術的検討
- ・高純度アルミナの湿式成形による高密度化及び低温焼結技術の開発
- ・人口減少時代の地方都市における移動図書館の現状についての調査研究

特別講演会

◆R01.10.2実施
 「あなたが作る未来
 シリコンバレーが作っている未来」
 講師：SiliconValley-JapanBusiness Consulting CEO マーク加藤氏

共同研究&受託研究等

◆共同研究	16件(H28)、19件(H29)、21件(H30)
◆受託研究	6件(H28)、4件(H29)、9件(H30)
◆技術相談	18件(H28)、7件(H29)、1件(H30)

ありあけ地域企業紹介フェア

◆H31.3.6実施

有明広域産業技術振興会会員企業を有明高専の学生及び教職員に振興会の会員企業を知ってもらうことを目的に会員企業紹介(42社参加)を開催しました。また終了後は、教職員と会員企業との名刺交換会を行いました。

担当窓口

【振興会事務局】大牟田商工会議所 地域振興課 / TEL:0944-55-1111 / E-mail: omutacci@omutacci.or.jp
 大牟田市 産業振興課 / TEL:0944-41-2724 / E-mail: e-kigyoushien02@city.omuta.fukuoka.jp
 大牟田市地域活性化センター / TEL:0944-56-1717 / E-mail: info@ecosanc.or.jp

【学 校 窓 口】有明工業高等専門学校 地域共同テクノセンター
 (事務担当:総務課 総務企画係) / TEL:0944-53-8627 / E-mail: arcc-office@ml.ariake-nct.ac.jp



独立行政法人 国立高等専門学校機構
北九州工業高等専門学校
「北九州高専技術コンソーシアム」

北九州高専技術コンソーシアム

北九州高専と地域産業界等との有志が連携して技術交流等を深めることにより、地域の産業や文化の興隆、ならびに北九州高専の教育研究の発展に寄与することを目的に活動を行います。

- 一、地域産業界および官と北九州高専の共同研究等の推進に関する事
- 二、北九州高専の教育活動の支援に関する事
- 三、技術振興のための講演会、研究会等の開催に関する事
- 四、その他、地域社会の産業や文化の振興および発展に関する事

組 織

設立 平成30年7月5日
 会員数 法人会員：59社
 個人会員：4名
 特別会員：9団体
 （令和元年8月2日時点）

受託研究&共同研究等

受託研究 3件（H28）、2件（H29）、5件（H30）
 共同研究 12件（H28）、16件（H29）、20件（H30）
 技術相談 0件（H28）、13件（H29）、5件（H30）

活動内容

地域産業界および官と北九州高専の技術交流、共同研究等の促進、学生の地元就職を推進する。

「令和元年度の事業計画」

1. 会員企業紹介イベントの開催
2. 技術コンソーシアムパンフレットの発行
3. 北九州高専専攻科学生の公開発表会の開催
4. 全国高専フォーラムでの企業展示
 （8月21日～22日、北九州国際会議場）
5. 九州地区高専技術振興会サミットでの交流
 （10月19日、久留米シティプラザ）
6. 技術講演会の開催
7. 技術相談の受付
8. 北九州高専ラボツアーの開催
9. 技術交流会の開催



会員企業紹介イベント



技術交流会

担当窓口

独立行政法人国立高等専門学校機構
 北九州工業高等専門学校

（事務担当：総務課研究支援係）

802-0985 北九州市小倉南区志井5-20-1
 Tel：093-964-7216 Fax：093-964-7226
 E-mail conso@kct.ac.jp
 URL https://www.kct.ac.jp/kigyou/kitakyukosen_conso/



独立行政法人 国立高等専門学校機構
佐世保工業高等専門学校
「西九州テクノコンソーシアム」

西九州テクノコンソーシアムとは

長崎県北地域の産学官民が連携して、地域の産業と文化の発展に寄与することを目的に活動を行います。

◇会員制、緩やかな連携組織



組織

- ◆設立 平成18年4月10日
- ◆会員数 法人会員：90社 / 個人会員：10名
特別会員：13機関 (令和元年8月時点)



主な活動

1. 地域の技術振興に関する事業(技術交流会、技術相談・指導、セミナー等)
2. 地域の技術開発、新事業、企業家支援に関する事業(共同研究、各種支援・援助等)
3. その他、地域社会の産業・文化、および科学技術教育の振興・発展に関する事業

受託研究 & 共同研究等

- ◆受託研究 6件(H28)、2件(H29)、1件(H30)
 - ◆共同研究 19件(H28)、16件(H29)、19件(H30)
 - ◆技術相談 28件(H28)、19件(H29)、24件(H30)
- ※NTC定例技術相談会：毎月1回第4水曜日

地域企業・大学との交流

1. 平成30年度佐世保市次世代創業者育成事業成果発表会参加
 長崎県立大学 4チーム
 長崎国際大学 3チーム
 佐世保高専 3チーム
2. 佐世保高専ラボツアー
 場所：佐世保高専 8研究室

技術講演会

- 平成30年度事業
- 9月13日：第1回水素事業化研究：佐世保高専
 - 10月31日：第2回水素事業化研究会：D-FLAG
 - 10月11日：長崎県産学官金技術交流フェア：ホテルニュー長崎
 - 11月30日：第2回産学官金連携サロン：佐世保高専
 - 12月5日：水素エネルギー開発研究会：佐世保高専
- ※毎月第3水曜日開催：組込み技術コミュニティ(NET-C)：佐世保高専又は佐世保情報産業プラザ

地域企業技術セミナー

- 企業技術セミナー：平成30年12月4日(火)
 (佐世保高専4年生・専攻科生対象 参加企業：21社)
- 企業見学会：平成31年2月22日(月)：九州テン、西日本流体技研 (佐世保高専4年生 参加学生：18名)

担当窓口

独立行政法人国立高等専門学校機構
 佐世保工業高等専門学校
 地域共同テクノセンター
 (事務担当：総務課企画係)

〒857-1193 長崎県佐世保市沖新町1番1号
 佐世保工業高等専門学校 地域共同テクノセンター
 Tel: 0956-34-8415 Fax: 0956-34-8409
 E-mail kikaku@sasebo.ac.jp http://www.sasebo.ac.jp/

独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校

【熊本高専地域連携振興会】～翔る！地域とともに～

設立 平成30年12月19日（前身の熊本地域振興会を再編し、規模を拡大）
会員数 法人会員 91法人、特別会員 13団体（法人）、個人会員 33名（令和元年8月現在）
会長 加藤友信（株式会社テレビ熊本 取締役副社長）
副会長 荒木啓二郎（熊本高等専門学校 校長）
顧問 荒木義行（合志市市長）
中村博生（八代市市長）

【主な事業内容】

- 研究開発推進支援事業** ・会員と高専との研究の活性化に繋がるスタートアップ研究を支援します。
・産学官連携研究プロジェクトをコーディネートします。
- 共同教育推進支援事業** ・学生及び地域人材の教育を支援します。
・学生のための地域社会共同教育を推進します。
・閃きイノベーションを支援します。
・地域人材の教育講座を支援します。
- 人財還流支援事業** ・会員企業と学生及びOB/OGとの出会いの場を作ります。
- 地域連携活動支援事業** ・出前授業、こども科学教室、中学校ロボコン、合志市エコまつり、八代土曜市など、地域貢献活動を支援します。

【事業事例】



【スタートアップ研究】



【新・閃きイノベーション】



【KOSEN4.0メガミーティング】

【担当】

熊本高専地域連携振興会事務局（熊本高専 総務課内）〒861-1102 熊本県合志市須屋 2659-2

TEL 096-242-6433 Fax 096-242-5503 mail:shinkoukai@kumamoto-nct.ac.jp

※ 熊本高専地域連携振興会ホームページ URL: <https://arcp.kumamoto-nct.ac.jp/> QRコード





独立行政法人 国立高等専門学校機構

大分工業高等専門学校

「大分高専テクノフォーラム」

大分高専テクノフォーラムとは

大分高専と地域産業界との技術交流を深めることにより、地域の産業と文化ならびに大分高専の教育・研究の発展に寄与し、地域共創を展開することを目的に活動を行います。



組織

◆設立 平成15年12月1日

◆会員数 法人会員：41社 / 個人会員：49名

(令和元年6月時点)



主な活動

- 地域産業界及び官と大分高専の技術交流、共同研究等の促進
 - ◆企業様との交流(役員会、総会の開催)
 - ◆技術相談並びに共同研究、受託研究の推進
 - ◆県内の産学官交流会議への参加
- 大分高専の教育・研究活動の支援
 - ◆学生の海外研修(H30は7名への支援)
 - ◆県外他機関(高専機構や九州地区の他高等等)との連携
- 技術振興のための講演会、研究会、シンポジウム等の開催
 - ◆大分高専主催のセミナー等を開催
 - ◆他機関が主催する講座等へ講師を派遣
- その他地域社会の産業・文化の振興・発展に関すること
 - ◆公開講座や「科学と遊ぼう!」を実施

受託研究&共同研究等

- ◆受託研究 5件(H28)、4件(H29)、6件(H30)
- ◆共同研究 13件(H28)、14件(H29)、9件(H30)
- ◆技術相談 11件(H28)、3件(H29)、10件(H30)

技術講演会

- ◆H30.12.7実施
「地方創生とビッグイベント」
大分県参事 廣瀬 祐宏 氏
- ◆R1.6.14実施
「味と匂いの可視化で新しい世界が生まれる」
九州大学高等研究院特別主幹教授
・五感応用デバイス研究開発センター特任教授
都甲 潔 氏

出前授業(科学と遊ぼう!)

「科学と遊ぼう!」とは、本校の教職員が地域の小中学校等に出かけ、「ひかりの不思議」や「液体窒素実験」等を通し、子供たちに科学の楽しさや面白さを体験してもらうための出前授業です。平成9年度から毎年実施しており大変好評を博しています。

担当窓口

独立行政法人国立高等専門学校機構
大分工業高等専門学校
地域共創テクノセンター
(事務担当：総務課企画室)

870-0152 大分市大字牧1666番地
Tel : 097-552-6450 Fax : 097-552-6106
E-mail kikaku@oita-ct.ac.jp
URL <http://www.oita-ct.ac.jp>



独立行政法人国立高等専門学校機構 都城工業高等専門学校

一般社団法人霧島工業クラブ



都城工業高等専門学校との連携・協力

一般社団法人霧島工業クラブと都城高専が連携協力し、共同研究、技術相談、就職、インターンシップ等を通して、地域に貢献しています。また、連携強化の為、都城高専校長並びに名誉教授に顧問として、地域連携テクノセンター長（校長補佐）に特別会員としてご就任いただいております。



◇合同企業説明会の共催 ◇就職支援講演会の共催 ◇卒業生・修了生の企業・自治体への人材輩出 ◇特別講演会による研究シーズの紹介と企業ニーズのマッチング促進 ◇ロボコン・高専祭・おもしろ科学フェスティバル・プログラミングコンテスト・低燃費車製作研究などへの協力支援 ◇企業視察研修による工場・ものづくり現場の見学◇地方創生推進事業 COC+ への協力支援 ◇モンゴル高専生の日本におけるインターンシップ及び就職支援（都城高専幹事校） ◇都城高専評議員会及び新教育システム評議会への出席・助言



1 合同企業説明会（都城高専体育館にて開催） 2 就職支援後援会（都城高専多目的ホールにて年4回開催） 3 特別講演会（都城高専校長 岩佐健司氏 演題「都城高専の今と将来」） 4 特別講演会（都城高専校長補佐/地域連携テクノセンター長 高橋明宏氏 演題「技術士の特徴と役割」） 5 高専ロボコン支援（研究奨学資金の目録贈呈） 6 高専祭支援（都城高専同窓会との連携） 7 おもしろ科学フェスティバル支援（未来の技術者の育成） 8 工場見学会（（株）日南宮崎総合研究所の試作車） 9 みやざきCOC+シンポジウム2018 10 モンゴル高専生のインターンシップ受入（宮崎空港到着） 11 都城高専評議員会 12 都城高専新教育システム評議会

鹿児島高専テクノクラブ(KTC)

独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校
National Institute of Technology, Kagoshima College

目的

本会は、鹿児島工業高等専門学校を核とした、産学官の技術・研究交流と協働による人材教育を通じて、地方創生と地域活性化に資することを目的とし、以下の活動を行う。

- (1) 産学官による共同研究の推進
- (2) 産学官による技術的、人的交流の推進
- (3) 産業界の技術向上、技術情報に関する支援
- (4) 鹿児島工業高等専門学校の学生教育への支援



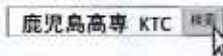
KTCについて

鹿児島高専テクノクラブ (KTC)



KTC会長 鶴ヶ野 未央 氏

※入会希望者は検索



本校地域共同テクノセンターが鹿児島高専テクノクラブの窓口として、地域企業の技術向上や本校との積極的な産学官連携（産学共同の研究、受託研究、技術相談等）を推進。現在90社（令和元年8月現在）の会員企業と、鹿児島県商工労働部、鹿児島県工業技術センター、かごしま産業支援センター、鹿児島市、霧島市、日置市等16の公的機関が特別会員として加入。昨年3月、創立20周年を迎えた。



関連事業

地・産官の連携を推進する地域活動推進事業（KTC）+ 平成21年度～令和1年度
本校地域共同テクノセンターとKTCが中心となって、企業研究会、企業説明会、企業見学会、企業講演、学生を含めた共同研究などを通じ、地域企業に魅力を感じ、地元に着目し、活躍する実践的技術者として学生を育成する。



主な活動1 総会・技術研修会

総会・技術研修会



毎年、年1回の総会と年3回の技術研修会を開催している。技術研修会では様々な分野から毎回講師の先生を招聘し、特別講演を行っている。また講演だけではなく、ラボツアーや学生からのアンケート紹介など、共同研究の促進や地域企業への就職率の向上に寄与する活動も行っている。令和元年度の第1回技術研修会では校長の新任に伴い水室校長が特別講演を行った。また、学生によるインターンシップの体験報告も行い、学生からの率直な意見をKTC会員企業へ届けた。
(写真は令和元年度第1回技術研修会の様子)



主な活動2 企業研究会

高専生のための地域企業研究会

毎年、年1回開催しているKTC主催の企業説明会。昨年度は平成31年1月23日(水)に、令和2年3月に卒業・修了予定の学生を対象として開催し、当日は、鹿児島高専テクノクラブ(KTC)県内企業37社がブースを開設し、約120名の学生が参加した。

保護者向け校内合同企業セミナー

保護者の方に地域企業を知ってもらうため、平成28年度より、毎年保護者懇談会の際に開催している保護者向けの企業説明会。今年度は令和元年5月25日(土)に開催しKTC企業31社がブースを開設し、保護者126名と学生16名が参加した。



担当窓口

独立行政法人国立高等専門学校機構
鹿児島工業高等専門学校 総務課 企画係

〒899-5193
鹿児島県霧島市華人町真孝1460-1

TEL:0995-42-9038 FAX:0995-43-4271
MAIL:kikaku@kagoshima-ct.ac.jp

独立行政法人

国立高等専門学校機構 沖縄工業高等専門学校

「沖縄高専産学連携協力会」

本会は、沖縄工業高等専門学校の教育・研究活動を側面より支援すると共に、本県産学間の共同研究を推進し、産業振興に寄与することを目的としています。

■イベント

・平成30年4月26日実施
「沖縄高専産学連携協力会 総会・懇親会」

・平成30年10月31日 実施
「第14回沖縄高専フォーラム・情報交換会」
テーマ：沖縄高専の教育と産学連携

■設立

平成16年4月

■会員数

企業・団体会員：107社 / 個人会員：24名

■担当窓口

独立行政法人国立高等専門学校機構
沖縄工業高等専門学校
地域連携研究推進センター
（事務担当：総務課研究連携推進室）

〒905-2192 名護市辺野古905番地
Tel:0980-55-4070
Fax:0980-55-4012
E-mail:skrenkei@okinawa-ct.ac.jp
URL:http://www.okinawa-ct.ac.jp/



主な活動

- (1) 地域産業界及び官と沖縄高専の技術交流
 - ・第14回沖縄高専フォーラム・情報交換会
 - ・定期・随時技術相談会の実施

35件(H28)、37件(H29)、28件(H30)
- (2) 沖縄高専の教育・研究活動に対する支援
 - ・全国高等専門学校ロボットコンテスト九州沖縄地区大会への参加
 - ・第29回全国高等専門学校プログラミングコンテストへの参加
 - ・航空プログラムへの支援
- (3) その他地域社会の産業・文化の振興・発展に関すること
 - ・公開講座の開催
 - ・「第34回やんばるの産業まつり」への参加
 - ・「第42回沖縄の産業まつり」への参加
 - ・「久辺テクノフェスタ2018」への参加

受託研究&共同研究

- 共同研究 30件(H28)、25件(H29)、28件(H30)
- 受託研究 24件(H28)、25件(H29)、21件(H30)

産学連携事例

- 泡盛「香仙古酒」記念ボトルの販売
日本トランスオーシャン航空(JTA)と沖縄高専の包括連携協定締結記念として沖縄高専ブランド泡盛「香仙古酒」をJTA機内にて本数限定で販売。
- 「てだ桑茶」の販売
JTAと産学連携協定を結んでいる沖縄高専と浦添市シルバー人材センターとのコラボで誕生した「てだ桑茶」をJTA機内にて販売。



(13) 企業広告

掲載一覧

企業名	ページ	企業名	ページ
【テクノネット久留米】		【大分高専テクノフォーラム】	
・株式会社小川製作所	24	・株式会社石井工作研究所	38
・株式会社古賀歯車製作所	”	・株式会社 AK システム	39
・武井電機工業株式会社	25	・エスティケイテクノロジー株式会社	”
・津福工業株式会社	”	・大分瓦斯株式会社	40
・日米ゴム株式会社	26	・株式会社デンケン	”
・林保冷工業株式会社	”	・株式会社矢野設備設計	41
【有明広域産業技術振興会】		【一般社団法人霧島工業クラブ】	
・有明広域産業技術振興会	27	・一般社団法人霧島工業クラブ	42
・株式会社旭製作所	28		
・有明マテリアル株式会社	”	【鹿児島高専テクノクラブ (KTC)】	
・株式会社大坪鉄工	29	・鎌田建設株式会社	43
・近鉄エンジニアリング株式会社	”	・株式会社九州タブチ	”
・信号電材株式会社	30	・国分電機株式会社	44
・株式会社セイコー	”	・株式会社サタコンサルタンツ	”
・株式会社大興	31	・株式会社トヨタ車体研究所	45
・吉野電子工業株式会社	”	・南国殖産株式会社	”
【北九州高専技術コンソーシアム】		【沖縄高専産学連携協力会】	
・アスカコーポレーション株式会社	32	・伊藤忠製糖株式会社	46
・北九州高速鉄道株式会社	”	・MRO JAPAN 株式会社	”
・九州小島株式会社	33	・株式会社沖縄 UKAMI 養蚕	47
・計測検査株式会社	”	・沖縄ハム総合食品株式会社	”
・日鉄プラント設計株式会社	34	・金秀バイオ株式会社	48
・株式会社安川電機	”	・拓南製鉄株式会社	”
【西九州テクノコンソーシアム】			
・株式会社ミライト	35		
・株式会社ユウシステム	”		
【熊本高専地域連携振興会】			
・熊本銀行	36		
・金剛株式会社	”		
・株式会社末松電子製作所	37		
・TKU テレビ熊本	”		
・平田機工株式会社	38		

各技術振興会内は50音順で掲載しております。

かぶしきがいしゃおがわせいさくしよ

株式会社小川製作所

業種：鉄鋼・非鉄金属・高専

■企業等概要

代表者：代表取締役社長 小川 朗
 住所：〒 830-0041 福岡県久留米市白山町 559
 代表TEL：0942-35-3233
 代表FAX：0942-38-4854
 企業URL：<http://ogawaseisakusyo.jp>
 資本金：2,000 万円
 従業員数：36名(H31.3.31 現在)(高専生採用実績：有)



株式会社小川製作所

■事業内容など

社会インフラの一つであります、橋梁関連の資材、機材関係の設計、製造をおこなっております。地図に残る仕事です。

かぶしきがいしゃこがはぐるませいさくしよ

株式会社古賀歯車製作所

業種：鉄鋼・非鉄金属・塗装

■企業等概要

代表者：代表取締役社長 古賀 俊宏
 住所：〒 830-0063 福岡県久留米市荒木町荒木 1964-5 (本社)
 〒 144-0052 東京都大田区蒲田 2-10-1-204 (東日本営業部)
 代表TEL：0942-27-3185
 代表FAX：0942-51-3065
 企業URL：<http://www.koga-gear.com>
 資本金：1,000 万円
 従業員数：57名(H31.2.28 現在)(高専生採用実績：有)



株式会社古賀歯車製作所商品

■事業内容など

当社は、工作機械、ロボット、製鉄、造船などの動力電動装置分野に歯車を提供している、歯車の専門メーカーです。当社で製作している歯車は、プラント、船舶のデッキクレーン、ダムゲートの開閉用ラック、工作機械やロボット搬送関連など幅広い分野で活躍していて、なかには種子島宇宙センターのロケット組立工場内の一部に使用されているものもあります。

ギヤやベベル、ウォームなど様々な歯車を製作し、中でもラックに特に力を入れています。品質向上を目指し続け、現在、ラックの品質において国内トップクラスを誇っています。

たけいでんきこうぎょうかぶしきがいしゃ

武井電機工業株式会社

業種：精密機械製造業

■企業等概要

代表者：代表取締役 武井 邦雄
 住所：〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口
 2617
 代表 TEL：0942-89-4151
 代表 FAX：0942-89-4159
 企業 URL：http://www.takei-ele.co.jp
 資本金：9,830万円
 従業員数：141名(H31.2.28現在)(高専生採用実績：有)



武井電機工業株式会社

■事業内容など

創業時からの、環境処理施設等、受配電システムの設計・製作。
 電気・電子・機械技術を駆使した複合機器（メカトロ）の設計・製作。
 スマートフォンのタッチパネル等、フィルム基板上の薄膜をレーザーにて除去するレーザー加工装置の製作。
 ※電気（電子）・機械が絡み合った複合技術を得意とし、加えて近年は光（レーザー）を融合したレーザー加工装置に注力致しております。

つぶくこうぎょうかぶしきがいしゃ

津福工業株式会社

業種：空調設備関連 システム

■企業等概要

代表者：代表取締役社長 津福 一宏
 住所：〒833-0001 福岡県筑後市一条 1331-2
 代表 TEL：0942-53-0120
 代表 FAX：0942-53-7774
 企業 URL：http://tsubuku.co.jp
 資本金：4,500万円
 従業員数：30名(H31.3.20現在)(高専生採用実績：有)



津福工業株式会社

■事業内容など

「空気と水の総合エンジニアリング企業」として、特殊空調設備から一般空調設備、環境改善・省エンジニアリング、ものづくりソリューション、サービス・メンテナンスまで、ワンストップサービスを行っています。

「省エネ」をキーワードに、大手メーカーにはないアイデアと、かゆいところに手が届く製品・サービスをご提供します。

にちべいごむかぶしぎかいしゃ

日米ゴム株式会社

業種：ゴム

■企業等概要

代表者：代表取締役社長 石丸 茂夫
 住所：〒830-0028 福岡県久留米市京町
 5丁目196番
 代表TEL：0942-33-3195
 代表FAX：0942-33-3198
 企業URL：<http://nichibeigomu.co.jp/>
 資本金：2,200万円
 従業員数：36名 (H31.3.25 現在) (高専生採用実績：有)



日米ゴム株式会社

■事業内容など

当社は総合的なゴム製品の製造メーカーとして皆様のご納得のいく品質の製品をつくっています。2003年9月ISO9001取得、2010年3月ISO14001取得、さらに2012年BCP作定。より高い品質の製品をお届けできるよう更に努力して参ります。

製造分野としてトラック・バス・フォークリフト用更生タイヤ部門、衣料用・靴等の糸ゴム部門、防舷材・緩衝材・ゴムロール等の工業用品部門、その他大手メーカーの委託製造を行っています。

はやしほれいこうぎょうかぶしぎかいしゃ

林保冷工業株式会社

業種：建設

■企業等概要

代表者：代表取締役社長 林喜一郎
 住所：〒841-0011 佐賀県鳥栖市永吉町788
 代表TEL：0942-82-4418
 代表FAX：0942-85-1245
 企業URL：<http://www.hayashi-horei.co.jp>
 資本金：3,000万円
 従業員数：19名 (H31.09.01) (高専生採用実績：無)



林保冷工業株式会社

■事業内容など

熱絶縁・防水・外壁改修工事をはじめ、豊かな生活に欠かせない設備の稼働を支える各種工事のスペシャリスト集団です。食品工場の温度管理・冷凍冷蔵倉庫の温度管理・ビルマンションの外壁改修の設計・施工からアフターメンテナンスまでトータルシステムとしてご提案し、幅広い業界の皆様から厚い信頼を頂いております。

これからも、創業依頼積み上げてきた歴史と伝統ある社業を発展させるべく『先取・誠実・信頼』をモットーに、進化し続けるユーザーニーズに的確に対応する企業であり続けます。

有明広域産業技術振興会

「九州沖縄地区高専技術振興会サミット」の開催、誠にありがとうございます。
私共、有明広域産業技術振興会は、有明工業高等専門学校を中心に産官学の連携を図り、地域産業の振興に寄与することを目的に平成11年に設立し、今年で設立20周年を迎えました。
今回のサミットでは、九州・沖縄地区の高専並びに技術振興会の関係者の皆様との交流を通して、今後の振興会事業の参考とさせていただきながら、引続き、有明工業高等専門学校との連携、協力のもと、地域産業の振興・発展に向けて取組んで参りたいと存じます。

有明広域産業技術振興会 会長 糸永 一平
(信号電材株式会社 会長)

会 長

(50音順)

信号電材株式会社

株式会社カネカ

平井精密工業株式会社

副会長

株式会社旭製作所

株式会社川島製作所

不二ライトメタル株式会社

吉野電子工業株式会社

九州ガス圧送株式会社

株式会社フレッシュ・ウォーター三池

理 事

株式会社旭精機

九州セラミックス工業株式会社

株式会社丸美屋

株式会社大坪鉄工

株式会社九州パッキング製作所

瑞輝科学生物株式会社

九州エレクトロン株式会社

九州プラスチック工業株式会社

三井金属工業株式会社 行司事業部

KM アルミニウム株式会社

株式会社桐井製作所

株式会社港工作所

興亜建設工業株式会社

近鉄エンジニアリング株式会社

株式会社メンバーズ ウェブガーデン九州

株式会社テクノックス九州

熊本工機株式会社

株式会社ヤマサキ

松尾産業株式会社

クレアプランニング株式会社

株式会社山本製作所

室町ケミカル株式会社

建装工業株式会社

有限会社ユー・ビー・アート

矢部川電気工業株式会社

国光施設工業株式会社

株式会社ランド・クリエイティブ

監 事

株式会社三井三池製作所九州事業所

有限会社坂本石灰工業所

株式会社LIXIL 有明工場

会 員

アーバンホーム株式会社

サンクスエンジニアリング株式会社

有限会社龍進工業

株式会社 ideetouch

三作合成ゴム株式会社

賛助会員/監事

株式会社ASKプロジェクト

株式会社セイコー

荒尾商工会議所

有明機電工業株式会社

株式会社セールスエンジ

賛助会員

株式会社有明ねっこむ

株式会社関家具

荒尾市

有明マテリアル株式会社

第一製網株式会社

大川市

株式会社イシモク・コーポレーション

株式会社大興 福岡営業所

大牟田市

株式会社いなだ豆

株式会社ダイワ

長洲町

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社

匠電気管理事務所

南関町

エスジーケミカル株式会社

竹下産業株式会社

みやま市

株式会社エム・ディ・エンジニアリング

株式会社武末鉄工所

柳川市

大川信用金庫

デンカ株式会社大牟田工場

大川商工会議所

大坪GS1株式会社

東洋電装株式会社

大牟田商工会議所

大牟田柳川信用金庫

中島物産株式会社

長洲町商工会

株式会社大藪組

株式会社ニチゾウテック九州事業部

南関町商工会

公益財団法人緒方記念科学振興財団

日東電工株式会社豊橋事業所

みやま市商工会

株式会社乗富鉄工所

柳川商工会議所

バンブーマテリアル株式会社

特別会員・顧問

有明工業高等専門学校

【会員企業 76社 賛助会員 14団体
特別会員 1団体】

ガラスひとすじに。 理化学機器でトータルサポート



理化学用ガラス製品



実験機器・環境レンタルサービス



特注ガラス機器・特注装置



フッ素樹脂コーティング製品



理化学高社として



光ファイバー・半導体向け製品

AG!

All Glass Innovations



株式会社 旭製作所

T064-0025 熊本県熊本市東区1978

TEL 0120-595-996

FAX 0968-68-2125

URL www.agl.co.jp

E-mail info@agl.co.jp

有明マテリアル株式会社 (ファインセラミック・先端材料エンジニアリングメーカー)



社員一人一人の「人間の力」と
その人間から生まれた「素材の力」で
皆様の問題解決のお手伝いをいたします。

有明マテリアル株式会社は、半導体や医療機器関連など幅広いお客様の最先端の技術に欠かせない高度なセラミックス材料とその加工製品およびアセンブリ製品、さらにはヒーター製品を開発、製造する会社です。

会社概要

資本金：1億円

株主：黒崎播磨株式会社 (100%)

代表者：代表取締役 満留 辰郎

従業員：52人 (2019年8月末現在)

本社所在地：

福岡県大牟田市西港町一丁目21番地1 e-mail:fujishima.ubt.junichi@krosaki.co.jp

営業種目：

- ・マシナブルセラミックスの製造・加工
- ・エンジニアリングセラミックスの製造・加工
- ・セラミックス繊維製品の製造
- ・セラミックス応用製品の製造

連絡先：TEL 0944-43-1151

水産機械製造販売
電力用機器製造販売

建築工事設計施工
水門管工事設作施工

株式会社大坪鉄工

代表取締役 大坪 とも子

本社	福岡県柳川市大和町徳益711-2	TEL : 0944-73-9216(代)
		FAX : 0944-73-1590
佐賀支店	佐賀県佐賀市川副町鹿江997-8	TEL : 0954-45-0008
熊本支店	熊本県熊本市河内町船津982-152	TEL : 096-276-1561
香川営業所	香川県高松市浜ノ町24-11	TEL : 087-822-0696

近鉄エンジニアリング株式会社

ものづくりに興味がある方、技術者として力を発揮しませんか！！

未経験から学べる環境で20代が活躍中！



会社概要

【会社名】近鉄エンジニアリング株式会社

【代表者】代表取締役社長 辻 明良

【設立】1988年2月 【資本金】3,000万円

【所在地】大阪府大阪市中央区高麗橋2丁目2番5号小山ビル

【TEL】06-6209-3161(代表) 【FAX】06-6209-3171

【社員数】約200名

●福岡支社データ

【住所】大牟田市四箇新町一丁目3番8 【TEL】0944-41-3211(代表) 【FAX】0944-41-3220

【HP】<http://kintetsu-eng.co.jp/> 【社員数】約70名

【事業内容】設計受託事業(各種産業全般の機械単体装置からプラント全体の設計請負業務)

信号電材株式会社

【本社所在地】福岡県大牟田市新港町1-29

【代表者】代表取締役 糸永康平

【資本金】8,000万円

【設立】1972年10月25日（昭和47年）

【従業員数】143名

【事業内容】

■交通信号関連器材の開発・設計・製造・販売

SHINGO
SHINGODENZA Co., LTD

SDLighting
OUTDOOR + design



高専生
積極採用中!



土質・地質調査解析、土壌・地下水汚染調査、測量・設計

確かな技術と品質で
地域社会に貢献する

調査部門

試験部門

工事部門



環境部門

測量・設計
部門

代表取締役 伊藤 和彦

顧問 兵動 正幸

山口大学大学院教授（特命）

www.corp-seiko.co.jp

建設総合コンサルタント

株式会社 **セイコー**

〒830-0055 福岡県久留米市上津1丁目24番13号 TEL:0942-22-5850 FAX:0942-22-5852
営業所／八女営業所・熊本営業所

エンジニアリングサービス
機械設計
株式会社 **タイコテック**

コミュニケーションサービス
**マニュアル
企画・制作**
株式会社 **タイテック**

グローバル
サポートサービス
**翻訳・通訳
知的財産**
株式会社 **アイシーエス**

ヒューマンサービス
人財・教育
株式会社 **プレコ**

ITソリューションサービス
**ICT インフラ
システム開発**
アイジー-IWS

プラント
エンジニアリングサービス
**電力プラント
応力解析**
三協機設株式会社

大興グループ 検索

技術でつながる、想いをわけあう。

創業42年、約40から始まりマニュアル制作・翻訳へと発展し、人材サービス・IT分野へも積極展開。グループ各社の「強み」と「併せ技」で最適なソリューションを提供します。

株式会社 大興
〒730-0044
広島県広島市中区宝町4-28 大興ビル
TEL082-241-7874 / FAX082-241-7899



YDK **YDK group**

大型製造装置製造
吉野電子工業(株)
YDK

輸送用機械製造
なんかんプレス(有)
NKP

請負の人材派遣
Y・S熊本(有)
YS

**吉野電子工業
グループ**

私たちは全員の力で明るい未来を創造できる企業を目指します。

YOSHINO ELECTRONICS

キラリ 未来技術をアシスト

キラリ 人、技術、未来 そして自然。

めっきを武器に世界と戦う会社です。

アスカコーポレーション株式会社



代表取締役社長
殿 和原(さか)かずひこ



代表取締役社長
殿 文孝(とが)ふみひこ



公式ホームページは右のQRコードを読み取ってください
採用情報を掲載しています。
新卒採用・中途採用など弊社にご興味のある方は
是非お問い合わせ下さい



～人と環境にやさしい企業を目指しています～

ASKA CORPORATION



街にあなたに豊かな時間と空間を
北九州モノレール



九州小島株式会社

1. 九州小島側の概要

当社は愛知県豊田市にある小島プレス工業株式会社を母体企業としており、平成18年8月福岡県鞍手郡小竹町にグループ初の九州拠点を設立致しました。設立以来、トヨタ自動車九州同一社主體を貫いており、レクサスを中心とした内外装部品品の生産を行っています。得意先・地域と共に成長することで、なくてはならない企業を目指しております。

2. 九州小島側の所在地

本社（小竹）工場：
福岡県 鞍手郡 小竹町
藤野 千原 1479-1
職工工場：
福岡県 宮崎市 鏡光
千野々志原 1010-5



3. 九州小島側の特色はか

当社は社是を「和」にして「和」が、社員とその家族の幸せがあるからこそ、会社の中での「生きがい」や「働きがい」が感じられ、社員同士の「和」が生まれる。そのことが会社の発展につながるという考え方を基本理念としています。設立当初は11名から開始した当社も13年間で400名を和す従業員になりましたが「社員一家族」という考えから完全無料の給食制の見直し、無料ドリンクコーナーの提供、生活必需品の配布等、充実したタイムサポートを画にして、強い団結力を持っていることが当社最大の強みです。

また、小島グループを一つの企業体とした「チーム小島」の力を背景にして、日々刻々と変化を市場ニーズに対して新しい商品提案に和の續んでいます。当社「チーム小島」の一員として、新商品開発や原価削減など、小島の価値を向上させることができるように、得意先や仕入先、そして地域の皆様に信頼され続ける企業を目指しております。



4. 我が社で活躍する高専卒業生の業務内容 (北九州高専平成26年卒 妹尾祥介さん：製造技術課)

入社6年目の私の所属する製造技術課の仕事は、大きく分けると「生産準備」と「設備管理」の二つがあります。

「生産準備」の仕事では製品を組み立てるための設備の検分から導入までを行いません。実際に作業する作業員や関係部署からの意見を基にしてメーカーと開発や改造を行うことで、より確実に安定した設備の提供を目指し日々努力しています。「設備管理」の仕事では既に稼働している設備の改善を行ない、作業員の働きやすさ・安全性をより良いものにできるようにしています。「不良品が出ない・止まらない設備」にするため、設備が止まる度にデータ取りを行い、問題を一つずつ潰していきます。このように私の所属する製造技術課は生産に関わる大きな責任を担っているため、私のように勤続年数の少ない社員にも高い知識と高い技術を求められます。先輩方からのアドバイスを頂きますが、まずは自分で挑戦してみることが大事だと思います。間違っていた場合でも1つの知識として吸収することで別の新しい方法を検討し、実行する。その繰り返しの経験が自分の成長につながっていると思います。



5. 我が社が求める高専卒業生の人材像

- ・何事にも当事者意識を持って仕事に取り組む人物
- ・積極意欲があり、現状で満足せず常に上を目指し続ける人物
- ・信念を持って自分の意見をしっかりと伝える人物

学歴・能力



やる気・向上心

学歴や能力を重視するのではなく、任された仕事に対してやる気や向上心がある人物を求めています。その結果、能力がついてくると考えています。当社の平均年齢は29歳とまだまだ若い会社である為、早い段階から大きな仕事を任せられることがあります。その仕事に対してどれだけ挑戦するかで成長度合いが人それぞれ変わってきます。

特徴 1

安全・迅速

特徴 2

3D 同時計測

特徴 3

高精度

特徴 4

直感的！！



30倍ズームカメラ
赤外線熱画像撮影
(サーモカメラ)



計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原 1-8-3
TEL: 093-642-8231



北九州で設計を極める!!

高専出身者多数!!



社員の約30%が
高専出身です。
多くの高専出身者が
活躍しています!!

高専出身者：104名(2019年9月時点)

大規模プラントの設計・エンジニアリング

当社は、日鉄エンジニアリング株式会社の設計機能を担い、先進的なプラントエンジニアリング・ソリューションをお客様に提供することにより、「日本、そして世界のプラント事業」を支えています。

製鉄設備、ごみ処理施設、エネルギー施設等の大規模なプラントを対象として、仕事内容は基本設計、詳細設計、試運転と幅広く、活躍の場も国内外に多数あります。その仕事を通じて、生産プロセスでの省エネルギー化やごみの再資源化の推進など、循環型社会の構築に大きく貢献しています。

「自分の構想したイメージが、プラント設備として立ち上がっていく」大きな達成感を得ることができる仕事です。

会社概要



- 所在地：本社 福岡県北九州市戸畑区大字中原46番地の59
- 設立：昭和48年10月1日
- 資本金：100,000千円
- 社員数：361名(2019年9月時点)
- URL：https://www.npd.eng.nipponsteel.com

- 事業内容：各種プラントの設計・エンジニアリング
 - 製鉄プラント分野
 - 環境・エネルギープラント分野
 - 制御システム分野
 - 数値解析・シミュレーション分野
- 連絡先：総務部人事チーム 採用担当
(TEL)093-588-7211
(E-mail)npd.saiyo@eng.nipponsteel.com

原動力は北九州。動かすのは世界。



産業用ロボット、インバータ、サーボモータ。
3つの製品で世界一。

世界中のものづくりを支えてきたメカトロニクス技術をもっと人と地球のために。

安川電機は、北九州から、世界へ、そして未来へ向かって、新たな挑戦を始めています。

※写真中央は、当社の最新型ロボット (MOTOMAN-30A100) です。



ロボットがロボットをつくる
八幡西区・ロボット工場



ロボットがインバータをつくる
行橋市・インバータ工場



太陽や風から
効率よくエネルギーをつくる



医療リハビリ・メディカルの
研究・開発をささげる

YASKAWA

株式会社 安川電機

北九州市八幡西区黒崎城石2番1号 安川電機 福岡

株式会社ミライト

総合エンジニアリング&サービス会社
情報通信技術で、豊かな社会の実現



make you **smile** with **みらいIT**

- | | | | | |
|---------|---------------|----------|------|------------------------|
| (1) 設立 | 1944年12月 | (6) 事業拠点 | 九州支店 | 福岡市博多区上呉服町10-1 博多三井ビル |
| (2) 業種 | 情報通信設備 | | 本社 | 東京都江東区豊洲5-6-36 |
| (3) 資本金 | 56億1,091万円 | | 全国 | 九州・沖縄・中国・西日本・北陸・東海・信越 |
| (4) 売上高 | 1,612億4,000万円 | | | 東京・神奈川・千葉・茨城・栃木・東北・北海道 |
| (5) 従業員 | 4,880人 (連結) | | | |

YOU SYSTEM Inc.



あなたのいちばんに。

 熊本銀行 |  FFG 福岡フィナンシャルグループ

「ものづくり」
「価値づくり」

ここ、
熊本から。

金剛株式会社

www.kongo-corp.co.jp


KONGO

株式会社末松電子製作所は
電気柵国内トップメーカーとしての誇りを胸に
企画から製造まで「ゼロ」からの製品開発を行っています。

獣害防止用電気柵
【ゲッターシステムシリーズ】



<http://www.getter.co.jp/>

KSDS 株式会社 末松電子製作所®



TKU 新キャラクター
「くまはち」



みなさん、どうぞよろしく、
「くまはち」です。
TKUは開局50周年。
これからも熊本、そして九州を
盛り上げていきます！



テレビ熊本ドキュメンタリードラマ 舞臺の偉人シリーズ第27作
加藤清正 ～民とともに生きた土木の神様～(仮題)

10月27日(日)午後4時5分～TKUで放送 FNS九州7局ネット

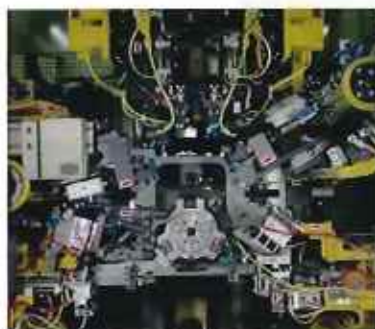
平田機工株式会社

世界が、まだつukれない。だから、私たちがつくる。

—ものづくりの進化を支える生産ライン—
Hirataは、世界トップクラスのメーカーの生産ラインを
最先端の技術を駆使し、丸ごと構築する会社です



垂直多関節ロボット



エンジンのコールドテスト装置

本社

〒861-0198 熊本県熊本市北区植木町一木111番地

株式 ホームページ

東証一部 上場 <http://www.hirata.co.jp/>

事業内容

自動車、半導体、家電、その他各種産業向けの生産システム、
ロボットシステムの製造と販売

Hirata
The Global Production Engineering Company

時代をリードする前向きな技術を追求し、常に新しい価値を創造してまいります。

【事業内容】

半導体製造後工程装置やその精密金
型、及び自動車関連部品組立の自動化
装置や検査装置の設計、製造、販売



自動車関連製造装置



AIVモバイルロボット

FIG グループ



(株)石井工作研究所

大分市東大道二丁目5番60号

TEL 097-544-1001 / FAX 097-554-5035



<http://www.aksys.co.jp>

AKSystem 株式会社 AKシステム



【事業内容】

- 制御・計装システム設計製作
- 機械装置設計製作
- 電気・計装システムソフト設計
- 空気調和関連設備・機器設計製作
- 精密板金・塗装・鋼構造物設計製作
- 介護祉機器開発

本 社 / 〒870-0106 大分県大分市大字鶴崎 2002-1

☎097-503-5250 ㊟097-579-6574

由 布 工 場 / 〒879-5413 大分県由布市庄内町大竜 1474

☎097-582-3311 ㊟097-582-3633

北九州営業所 / 〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの 1-8

☎093-695-3478 ㊟093-695-3478

北九州学術研究都市事業化支援センター403号室



鶴海グループ

STK エステイテクノロジー株式会社

本社 / 大分市大字三佐 2 4 6 8 - 1 0

tel. 097-527-2161 fax. 097-522-3001

大分ガス



技術で未来を開く
DENKEN 株式会社デンケン

大分県由布市挾間町鬼崎 688-2 TEL:097-583-5535

URL: <https://www.dkn.co.jp/>

環境をサポート

給排水
設備設計

空調換気
設備設計

電気
設備設計

通信
設備設計

住宅からプラントまで幅広く
設備設計のニーズにお答えします。



株 矢野設備設計

(一級建築士事務所 第18R-13556号)

建築設備・設計監理

代表取締役会長 矢野 久
設備設計一級建築士

〒870 0921 大分市秋原3丁目16番3号

PHONE (097) 551-2302

F A X (097) 551-2993

E-mail: hisashi@yano-ss.co.jp

<http://www.yano-ss.co.jp>





独立行政法人国立高等専門学校機構 都城工業高等専門学校

一般社団法人霧島工業クラブ



一般会員 48 社 / 賛助会員 3 社 / 特別会員 6 団体 (2019 年 5 月 31 日現在) ※都城高専 O8・OG 約 200 名が勤務し、同窓会との連携をとっています。



名称 一般社団法人 霧島工業クラブ
 設立 1992 年 11 月 (社団法人設立 2005 年 12 月 14 日)
 概要 都城工業高等専門学校を核とした地域協力型異業種交流グループであり、産学官の相互協力により、技術の本格的な拠点づくりや、誘致企業と地場企業の技術交流、高付加価値製品の開発、次代を担う人材の育成などを促進し、もって本地域産業の技術集積及び経済の健全な発展を図ることを目的として活動しております。
 活動 ①産学官連携による各種プロジェクトの推進に関する事業 ②工業振興施策の推進及び提言・要望に関する事業 ③各種講演会及び研修会に関する事業 ④会員企業見学会及び先進企業視察に関する事業 ⑤関係機関・団体との連携協働に関する事業 ⑥その他目的を達成するために必要な事業

産

えびの電子工業	ツカサ電気	太陽光発電のSI屋	CSパートナー	内山建設
大淀開発	都北産業	司工務店	住友ゴム工業宮崎工場	ソーラーフロンティア
九南	日本情報クリエイト	外山木材	ヤマエ食品工業	九州北清
九州コガネイ	マトヤ技研工業	宮崎オーバル	南九州向洋電機	興電舎
サニー・シーリング	都城木材	宮崎日機装	姫島電機宮崎研究センター	シンコー
サンワ技研	メタル・テクノ	都城印刷	鹿島	全日本検査技術
システム・ナイン	大和工機	F I X E R	日南宮崎総合研究所	大和開発
下森建装	吉原建設	興電舎商事	プロマ精工	日東電工
スタッフメイト南九州	リブレ	川原田工務店	ニチワ	京都スペース
匠	システム技研	イリテック	教育情報サービス	メタウォーター

学

都城工業高等専門学校 南九州大学

官

都城市役所 都城商工会議所 宮崎県産業振興機構 宮崎県木材利用技術センター

金

宮崎銀行

私たち鎌田グループは、人々の暮らしをつくる企業です。

培ってきた技術とノウハウを生かし、これからも皆様の暮らしのお役に立てるよう日々、精進いたします。



●建築部 秋田・旭川事務所

施工事例



●土木部 上下水道部

施工事例



●住宅事業部 カマタの家

施工事例



●鎌田グループ 快適な地域社会のためのネットワーク

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社 政興舎 ● 株式会社 ケー・エム・建設 ● 株式会社 東洋建設 ● 株式会社 東洋建設 ● 株式会社 東洋建設 ● 株式会社 東洋建設 ● 株式会社 東洋建設 ● 株式会社 東洋建設 | <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社 石田建設 ● 株式会社 国分建設 ● 株式会社 国分建設 ● 株式会社 中央測量コンサルタント ● 株式会社 三浦建設 ● 株式会社 藤田建設 ● 株式会社 山田建設 |
|---|--|

高い技術力と深い信頼で地域会社に貢献する

鎌田建設株式会社

【本社】
〒899-4462 鹿児島県霧島市国分敷根141番地
TEL.0995-46-3000



分野

一般機械器具製造業

企業名



株式会社九州タブチ

住所：霧島市国分敷根 120 番地

電話：0995-45-1523

Fax：0995-45-6433

HP：www.tabuchi.co.jp



会社の概要

設立/昭和45年4月28日
資本金/5,000万円
代表者/代表取締役社長 鶴ヶ野 未央
従業員数/168名 うち女性(44名)
売上高/41億(平成31年3月期)
支店等/上野原テクノパーク工場

主製品(事業内容)

継手・止水栓・サドル分水栓等
給水システム関連商品の開発・製造

会社の特徴・PR

大阪にある開タブチの100%出資により設立した誘致企業。今年で創立49周年を迎えた。各家庭に水を届ける為の給水システム関連商品を取り扱っている。鍛造・機械加工・表面処理・検査・組立に至るまで一貫した生産工程を社内に有し、材質の違う鋼合金を混流生産する技術を駆使しながら日本トップクラスの生産量を実現している。

現在、社員の子ども達に働きたいと思ってもらえる魅力的な会社を目指し、両立支援及び社員満足度向上活動を展開、男女共に働きやすい職場づくりを目指している。

- 2017年 経済産業省「地域未来牽引企業」選定
- 2018年 日本経営品質賞(中小企業部門)受賞
- 2019年 中小企業庁「はげたく中小企業300社」選定

最近の採用状況 2018~2019年度 計9名うち女性(1名)

鹿児島県高専卒業生 有(8)名

工場見学・インターンシップ随時受入可



分野 照明器具 製造業	企業名 国分電機株式会社	住所：霧島市国分川原 1050 番地 2 電話：0995-47-3311 Fax：099546-4471 HP：www.kokubudenki.jp
-------------------	------------------------	---



会社の概要

設立／昭和 44 年 10 月
資本金／9000 万円
代表者／代表取締役社長 森山克己
従業員数／153 名 うち女性（91 名）
売上高／26 億 1300 万円(平成 31 年 2 月期)
支店等／大阪工場(大阪府枚方市)
国分電機大和(鹿児島県奄美大島)

主製品（事業内容）

LED 照明器具製造
車載・産業機器向け部品
(アルミダイカスト)



会社の特徴・PR

昭和 44 年(株)大森製作所として大阪にて創業
昭和 63 年旧国分市の誘致を受け国分電機(株)を設立
平成 19 年(株)大森製作所を吸収合併し現在に至る
日本国内では希少な開発設計から部品加工、組立まで一貫した
生産スタイルを持ち、LED 照明に移行においても積極的に製
品の開発を行い様々な照明器具の製造をしている。又、近年は
社内設備を活用し自動車向けの部品供給も行っている

最近の採用状況

2 名 うち女性（0 名）

鹿児島高専卒業生

有（1）名

分野 総合建設 コンサルタント	企業名 株式会社サタコンサルタンツ	住所：鹿児島市鷹師 2 丁目 3 番 2 号 電話：099-250-7360 Fax：099-250-7380 HP：http://satacon.co.jp/
-----------------------	-----------------------------	---

H29.7 曾於支店新社屋新設



会社の概要

設立／昭和 52 年 9 月 16 日
資本金／1,000 万円
代表者／代表取締役 重中 一朗
従業員数／73 名 うち女性（16 名）
売上高／612,900 千円
支店／曾於・霧島・鹿屋・志布志
東京・名古屋・福岡
営業所／始良・日置・熊毛・大島・南薩

主製品（事業内容）

官公庁の発注する公共事業を主に、道路、河川をはじめと
する様々な生活基盤と生産基盤の「計画」「測量」「設計」
から社会インフラの「維持管理」までを行う総合建設コンサル
タントとして社会資本整備を手掛ける。

会社の特徴・PR

弊社は、地元鹿児島で創業し、今年で創業 44 年を迎える。
私たち建設コンサルタントの仕事の領域は広く、土木技術の
専門家として、さまざまな公共事業に係わり、高度な技術力
はもちろん、地域に必要とされる会社を目指すために新技術
の導入に努めている。また、全国展開している大手関連会社
との人的・技術的交流による、社員のスキルアップを図って
いる。

福利厚生等は、毎年見直す機会をつくり社員が長く安心して
働ける職場環境をつくっている。

直近 3 ヶ年の採用状況

7 名 うち女性（3 名）

鹿児島高専卒業生

有（4）名 2020 年度内定者 1 名

分野 自動車 設計業	企業名 株式会社トヨタ車体研究所	住所：霧島市国分上之段 395 番地 1 電話：0995-48-2800 Fax：0995-48-2815 HP：https://www.toyota-bodyrad.co.jp
------------------	---------------------	--

主製品（事業内容）

自動車ボデー・ボデー部品・内外装
部品・電子電装部品の設計、試験・
評価、生産技術、システム開発

会社の特徴・PR

当社は鹿児島・愛知を拠点に自動車ボデー、部品設計
および解析、試験・評価、生産技術、システム開発な
ど、自動車開発における幅広い分野で活躍するエンジ
ニアリング会社です。トヨタグループの開発メーカー
として、お客様に喜ばれるクルマづくりに励んでいま
す。鹿児島県女性活躍推進優良企業知事表彰を受賞し
ており、有給休暇 100%取得や家庭と仕事の両立支援
制度など、誰もが安心して働き続けられる環境も当社
の魅力です。

会社の概要

設 立／1990年(平成2年)4月26日
資 本 金／3.03 億円（トヨタ車体100%出資）
代 表 者／代表取締役社長 立松 哲二
従業員数／403名 うち女性（53名）
売 上 高／17.6 億円（2018 年度実績）
支 店 等／愛知県刈谷市

最近の採用状況

9名 うち女性（2名）
鹿児島高専・都城高専卒業生 1名

卒業生在籍

鹿児島高専・都城高専卒業生 47名

分野 建築・土木・設備 関連工事業	企業名 南国殖産株式会社	住所：鹿児島市中央町 1 8 番地 1 電話：099-255-2111 Fax：099-254-3125 HP：http://www.nangoku.co.jp/
-------------------------	----------------------------	--

主製品（事業内容）

建築・土木・各種設備工事の設計・施工・資機材販売
都市再開発事業

会社の特徴・PR

1945年の設立以来、建設資材・機械・設備機器等の販売、
建築・土木・各種設備工事の設計・施工を手掛け、近年では、
太陽光・水力・風力発電事業や、鹿児島中央駅前の都市再開
発事業等、次世代を見据えた事業に注力しております。
また、子会社・関連会社を46社擁し、九州でも屈指の企業
集団として、これからも地域の発展に寄与する事業活動を
展開してまいります。

会社の概要

設 立／1945年3月1日
資 本 金／5億円
代 表 者／代表取締役社長 永山 在紀
従業員数／1,098名 うち女性（233名）
売 上 高／1,720億円（2018年9月期）
支 店 等／東京・福岡・熊本・長崎・宮崎
霧島・川内・鹿屋

最近の採用状況

55名 うち女性（22名）

鹿児島高専卒業生

有（13）名



クルルのβグル

β-glucan

伊藤忠製糖の黒酵母βグルカンは、水熱処理により高純度精製を可能にし、これまでに無かった特長を実現しました

一般的な黒酵母
βグルカンを

水熱処理

クルルのβグル

高純度

●粉末品 βグルカン含有 90%以上

無色・無味

●商品の味や見た目を損ないません

水溶性

●10%程度まで溶かすことができます
●液体への均一な混合が容易です

低粘度

●ハンドリング良好で幅広い製品に応用可能

【クルルのβグル エビデンス】
●インフルエンザウイルス感染試験
※お問い合わせは下記まで

●アレルギーに関する試験

お問い合わせ先

伊藤忠製糖株式会社 研究開発室
〒447-8506 愛知県碧南市玉津浦3番地

TEL : 0566-46-0687

FAX : 0566-46-0699

MRO Japan

※ MRO = 「Maintenance, Repair and Overhaul」の略称

【お問い合わせ】
MRO Japan 株式会社
TEL: 098-851-7660

- ◆ 国内初の航空機整備専門会社として、2019年1月より那覇空港へ移転し事業を開始
- ◆ 地理的優位性と日本品質を武器にMROビジネスへ挑戦
- ◆ 沖縄県航空関連産業クラスターの基幹企業として、クラスター形成促進に貢献

経営理念 Philosophy

私達はMRO事業を通して空の安全を支え、航空産業と地域・社会の発展に貢献します。

経営ビジョン Vision

まごころを込めた品質でお客様から選ばれるアジアを代表するMROを目指します。

未来の肌を輝かせる、沖縄産天然シルクの恵み

Vilanje

Vilanje (ヴィランジェ) は、
希少な沖縄産天然シルクの研究開発から生まれた
新しいスキンケアブランドです。



株式会社沖縄OKAMI 電話 7305-0471 沖縄県読谷郡中道仁村字平野77-1-0 <http://www.oki-aaa-starts.co.jp/>

オキハム

沖縄高専と沖縄ハム総合食品株式会社がコラボして誕生

400億個乳酸菌配合

乳酸菌いっパイン

沖縄高専(共同開発)

沖縄高専生物資源工学科の学生たちが、
亜熱帯植物の研究の中、沖縄県産パイナップルから発見した
LC-IM-1株。腸内環境や免疫機能等について研究が続けら
れています。



LC-IM-1 ラクトバチルス
パラカゼイ株



平成29年6月30日より発売

沖縄産の
確かな素材から
健康食品を
お届けします。




【長寿の島・沖縄の豊富な健康食品素材】

●沖縄モズク由来ソコイタン ●ウコン各種（熱帯ウコン、春ウコン、秋ウコン、紫ウコン）
●長命草 ●ノニ ●ゴーヤー（ニガウリ） ●クミスクチン ●青パパイヤ・・・など。

※原料販売・OEM受託製造も行っていきます。

 **金秀バイオ株式会社** 〒901-0306 沖縄県糸満市西陣町5丁目2番地2
TEL.(098)994-1001 FAX.(098)994-0636 <http://www.kanehide-bio.co.jp>



 地域未来牽引企業

沖縄県唯一の製鉄メーカー



拓南製鉄株式会社

代表取締役会長 古波津 昇

代表取締役社長 八木 実

本社・中部事業所：沖縄県沖縄市海邦町3-26

石灰工場：沖縄県名護市宇安和2656-2

福岡営業所：福岡県福岡市博多区博多駅前1-4-4JPR博多ビル4F

鹿児島営業所：鹿児島県鹿児島市谷山港2-25

ウェブサイト：<https://www.takunansteel.co.jp/>

九州沖縄地区

高専技術振興会サミット in KURUME

産学連携 ～その先にできること～

令和元年10月発行

独立行政法人国立高等専門学校機構

第5ブロック研究推進ボード事務局

〒 870-0152 大分市大字牧 1666 番地

大分工業高等専門学校

TEL : 097-552-6138 FAX : 097-552-6106

ホームページ : <http://www.oita-ct.ac.jp>

九州沖縄地区高専技術振興会サミット in KURUME 主管校

〒 830-8555 福岡県久留米市小森野 1 丁目 1-1

久留米工業高等専門学校

TEL : 0942-35-9333 FAX : 0942-35-9307

ホームページ : <http://www.kurume-nct.ac.jp>
